ぶるまー2000
BLOOMERS MILLENNIUM
THE BLOOMERS HALL

ブルマの穴 内閣とほほ調査室

特集　プレイディアV

橘あゆみ「皆さん、お久しぶりです。橘あゆみです」
常葉愛「今日も『ぶるまー2000』やったか？　20世紀最後の妖精・常葉愛だ」
あゆみ「『ぶるまー2000』大好評大発売中。アンケートハガキが5万通も送られてきたよー。みんなありがとー」
愛「そんなに売れてねえーっ！（バシバシッ！）」
あゆみ「いたいいたい。だって台本にキャラ生命を賭け死んでも言えって赤い字で書いてあるんだもん」
愛「ムシムッシーお疲れサマでしたー。さて今回の特集はプレイディアV」
あゆみ「プレイディアって？」
愛「馬鹿――ッ！　グーでパンチ！」
あゆみ「だって本当に知らないんだよう」
愛「『へぇーっ3DOとバーチャルボーイならわたしの家まだ現役☆』と台本にも指定してあるだろ！　言え！」
あゆみ「いや！」
愛「つえええーい！　今さら処女でもないくせにっ、とゆーわけでプレステ、サターンと同時期にバンダイの発売したいわゆる新世代ゲームマシン。それがプレイディアだ。そしてこのマシンには、プレイディアVというものがあってな？」
あゆみ「ビクターのVサターンみたいなものかなあ」
愛「うん。そのへんが謎だ。で、あたしたちが徹底究明しようって企画」



《プレイディアV想像図》

あゆみ「なんで？」
愛「なんで……って、全社員にその存在を信じてもらえなかったんだよ？　口惜しくないの？　『そんなのイリュージョンだっぴ』『通りすがりのサルティンバンコに化かされたんのす』『伝説のホワイトタイガーと見違えたんでゲロ』とか言われたら、特集しないわけにはいかないだろっ！」
あゆみ「なんだかすっごく意図的な…」
血走「説明しよう、愛くん！　プレイディアVとは――」

〈パソコンに向かって15分経過〉

あゆみ「わー、すごいな。インターネットってなんでも検索できちゃうんだね？」
愛「まさか魔物ハンター妖子の久川綾がテーマソングを。意外意外」
血走「お役に立てて嬉しい。ちなみに文献検索には『http://www.google.com/』が高速かつ強力でお勧め」
愛「ご苦労血走。じゃ、すっきりしたところで、特集おわり」
あゆみ「えっ？　おわり？」
愛「だってもう分かったもーん。あとはだらだらとお喋りでもしよーぜ」
あゆみ「せ、せめて『ぶるまー2000』の話題にしよう？」
愛「だってなー。もう2001年だしー。21世紀にもなってブルマーってのもなー」
あゆみ「21世紀21世紀って、みんなおかしいよ。一気に百年たったわけでもないのに、いきなり何かが変わるわけないじゃない！」
愛「おかしい人たちに同～感。21世紀ったらチューブ型の道路をエアカーがびゅーでぴっちりスーツの未来人が光線銃びびぃーだったのにどうよ！　フタ開けてみればまだ第三次大戦すら！　せいぜいロボットがパラパラ踊ったくらいで！　ユーアーショック！」
あゆみ「何もないのは、日本がそれだけ平和な証拠ですっ」
愛「うがあーこの偽善者め！　まー仕方がない。すこしは、らしいネタを振るか。あーそうだな。さいきんやったGPMがこっそりブルマだった」
あゆみ「今すごく話題になってるゲームだよね。えっと『がんばれマーチ』だっけ？」
愛「あゆみらしい罪のない聞き違いだねー。ブルマはポリゴンだったんだけど。ごく小さい絵で」
あゆみ「ブルマーにもポリゴンの波が来るのかなあ」
愛「ま、時間の問題っしょ。人間、そういったリビドー方向には熱心だから」
あゆみ「次回作『サフィズムの舷窓』にブルマーは出るの？」
愛「出ない。企画・原作のとい天津はブルマじゃごはん食べられないって言ってたし。あ、でも別頁の読参でがんばればわからんな。よーしっ、やる気出てきた（かぽんかぽん）」
あゆみ「が、がんばってね……」

■ブルマ絵ッ募シューッ『貴女のブルマー見せて下ちい』指令ライアーキャラにブルマを履かせろ応募要領は18ページと同じだ採用者には銀のブルマークを進呈ニコルは2枚沙乃なら3枚オーイエすぅはぁん!!!